



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,582	△3.9	△14	—	35	△69.2	11	△82.1
2022年3月期第1四半期	4,768	62.1	86	—	114	—	62	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 122百万円 (117.0%) 2022年3月期第1四半期 56百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.73	—
2022年3月期第1四半期	4.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	36,946	29,780	80.6	1,956.46
2022年3月期	37,616	29,901	79.5	1,964.39

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 29,780百万円 2022年3月期 29,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 創業80周年記念配当 2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,900	9.1	400	131.4	400	88.1	300	117.9	19.71
通期	23,500	3.3	1,100	△3.8	1,150	△7.1	850	△5.0	55.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	15,721,000株	2022年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	499,420株	2022年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	15,221,580株	2022年3月期1Q	15,196,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日)におけるわが国経済は、中国をはじめとする海外での新型コロナウイルス感染症の状況悪化による物流の停滞や、ロシアによるウクライナ侵攻の影響、内外の金利差拡大による円安の進行を大きく受けたものとなりました。今後についても、国内での新型コロナウイルス感染症の再拡大や原材料や燃料の高騰によるインフレ、景気の悪化など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において当社では、半導体関係の需要増に 대응べく、生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、原材料価格の高騰や部材不足への対応を進めてまいりました。

しかしながら、主に住生活関連機器事業および検査計測機器事業の販売の減少により、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,582百万円で、前年同四半期比186百万円、3.9%の減収となりました。

利益面につきましては、減収にともなう粗利益額の減少に加え、生産および販売体制拡充にともなう人件費などの固定費増加の影響等により、営業損失14百万円(前年同四半期は営業利益86百万円)、経常利益35百万円(前年同四半期比79百万円、69.2%の減益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円(前年同四半期比51百万円、82.1%の減益)となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益または損失 (△)		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	2,449	2,333	△4.7%	24	△31	－%
検査計測機器	1,203	1,093	△9.1%	△68	△42	－%
産業機器	588	605	2.9%	113	68	△39.9%
エクステリア	232	223	△3.7%	7	△12	－%
機械・工具	294	325	10.5%	10	11	11.1%
報告セグメント計	4,768	4,582	△3.9%	87	△6	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△1	△8	－%
合計	4,768	4,582	△3.9%	86	△14	－%

(住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産、特にWEB会議の機会拡大で需要が拡大している個室空間製品に注力してまいりました。

しかしながら、オフィス用家具の需要回復に一服感があること等の要因により、売上高は2,333百万円で前年同四半期比115百万円、4.7%の減収となりました。利益面では、固定費の圧縮には努めたものの、減収にともなう粗利益額の減少等により、セグメント損失は31百万円(前年同四半期はセグメント利益24百万円)となりました。

(検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き設備投資需要が拡大している半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

しかしながら、受注活動は好調であるものの、海外での移動制限や顧客事情による検収時期の遅れなどにより、売上高は1,093百万円で前年同四半期比110百万円、9.1%の減収となりました。利益面では、売上減少にともなう粗利益額の減少や販売体制拡充にともなう人件費などの固定費増加の影響等により、セグメント損失は42百万円(前年同四半期はセグメント損失68百万円)となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司およびTakano of America Inc. で構成され、主に電磁アクチュエータならびにユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造装置業界の好調を受け、電磁アクチュエータの増産体制の整備ならびに販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は605百万円で前年同四半期比16百万円、2.9%の増収となりました。一方、利益面では原材料価格の上昇にともなう粗利率の低下と、更なる生産体制の拡大に向けた設備投資や人員増加などの固定費の増加により、セグメント利益は68百万円（前年同四半期比45百万円、39.9%の減益）となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症による営業活動が制限される中、WEBを活用したプロモーション等の販売促進活動に注力してまいりました。

しかしながら、売上高は223百万円で前年同四半期比8百万円、3.7%の減収となりました。利益面では、原材料や部材価格の上昇による粗利益の悪化と、営業体制強化にともなう固定費増加等により、セグメント損失12百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は325百万円で前年同四半期比30百万円、10.5%の増収となりました。利益面では、セグメント利益11百万円（前年同四半期比1百万円、11.1%の増益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較し、645百万円減少の22,702百万円となりました。これは主に、売掛代金の回収が進んだこと等により現金及び預金が356百万円、受注残高の増加にともない商品及び製品が182百万円、仕掛品が946百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が2,243百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は前連結会計年度末と比較し、24百万円減少の14,243百万円となりました。これは主に、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、投資有価証券が72百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が69百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が15百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は36,946百万円となり、前連結会計年度末と比較し、670百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末と比較し、570百万円減少の6,296百万円となりました。これは主に、検査計測装置の大口物件の納入により契約負債が501百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が381百万円、未払法人税等が313百万円、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が356百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,165百万円となり、前連結会計年度末と比較し、549百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比較し、120百万円減少の29,780百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が65百万円増加した一方、利益剰余金が親会社による配当金の支払い等により232百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.5%から80.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結結果計期間および通期の業績につきましては、現時点で、2022年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,798,325	8,154,807
受取手形、売掛金及び契約資産	10,210,758	7,967,240
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	616,380	799,250
仕掛品	2,892,214	3,838,643
原材料及び貯蔵品	1,357,887	1,406,397
その他	172,087	235,722
流動資産合計	23,347,654	22,702,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,519,379	3,454,043
機械装置及び運搬具(純額)	970,410	942,718
土地	4,236,283	4,236,283
その他(純額)	708,724	732,555
有形固定資産合計	9,434,798	9,365,599
無形固定資産	183,395	171,802
投資その他の資産		
投資有価証券	3,142,536	3,214,606
その他	1,514,299	1,498,181
貸倒引当金	△6,218	△6,218
投資その他の資産合計	4,650,617	4,706,569
固定資産合計	14,268,811	14,243,971
資産合計	37,616,465	36,946,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,881,529	1,541,602
電子記録債務	2,541,952	2,500,029
未払法人税等	335,523	22,072
契約負債	305,860	807,788
賞与引当金	608,191	251,759
製品保証引当金	34,329	33,981
その他	1,159,199	1,138,998
流動負債合計	6,866,587	6,296,231
固定負債		
長期借入金	80,000	75,000
退職給付に係る負債	508,580	517,651
その他	260,133	276,701
固定負債合計	848,714	869,352
負債合計	7,715,301	7,165,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	25,339,798	25,107,370
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	29,456,641	29,224,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,908	387,251
為替換算調整勘定	121,795	168,431
退職給付に係る調整累計額	818	551
その他の包括利益累計額合計	444,522	556,234
純資産合計	29,901,164	29,780,448
負債純資産合計	37,616,465	36,946,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,768,995	4,582,055
売上原価	3,610,826	3,500,852
売上総利益	1,158,169	1,081,203
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	286,313	300,301
賞与引当金繰入額	49,848	72,630
退職給付費用	12,582	14,406
研究開発費	211,575	175,541
その他	511,307	533,019
販売費及び一般管理費合計	1,071,627	1,095,899
営業利益又は営業損失(△)	86,542	△14,696
営業外収益		
受取利息	4,706	4,563
受取配当金	16,283	20,626
為替差益	—	15,984
その他	20,482	11,215
営業外収益合計	41,472	52,390
営業外費用		
支払利息	598	554
固定資産除却損	53	45
コミットメントフィー	1,682	1,682
為替差損	11,039	—
その他	0	122
営業外費用合計	13,374	2,404
経常利益	114,640	35,289
特別利益		
固定資産売却益	7,080	—
特別利益合計	7,080	—
税金等調整前四半期純利益	121,721	35,289
法人税、住民税及び事業税	17,058	15,667
法人税等調整額	42,419	8,504
法人税等合計	59,477	24,171
四半期純利益	62,243	11,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,243	11,117

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	62,243	11,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,246	65,343
為替換算調整勘定	42,886	46,635
退職給付に係る調整額	△4,291	△266
その他の包括利益合計	△5,651	111,711
四半期包括利益	56,592	122,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,592	122,829
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,411,934	1,203,682	588,798	232,484	294,271	4,731,171
その他の収益	37,824	—	—	—	—	37,824
外部顧客への売上高	2,449,759	1,203,682	588,798	232,484	294,271	4,768,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,667	56	8,803	793	116,535	143,857
計	2,467,426	1,203,739	597,601	233,278	410,807	4,912,853
セグメント利益又は損失(△)	24,606	△68,647	113,859	7,364	10,651	87,834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	87,834
セグメント間取引消去	△1,292
四半期連結損益計算書の営業利益	86,542

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,294,537	1,093,576	605,721	223,855	325,130	4,542,822
その他の収益	39,233	—	—	—	—	39,233
外部顧客への売上高	2,333,771	1,093,576	605,721	223,855	325,130	4,582,055
セグメント間の内部売上高又は 振替高	25,297	139	13,357	2,880	184,375	226,048
計	2,359,068	1,093,715	619,078	226,735	509,506	4,808,104
セグメント利益又は損失(△)	△31,691	△42,131	68,414	△12,500	11,830	△6,078

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△6,078
セグメント間取引消去	△8,617
四半期連結損益計算書の営業損失	△14,696

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。